

西武新宿線連続立体交差化計画に伴う沿線まちづくりのオープンハウスを開催しました



開催日時	令和元年6月28日(金) 17時~20時	令和元年6月29日(土) 11時~16時
開催場所	上石神井南地域集会所	関区民センター
来場者数	143名	211名
	354名(2日間延べ人数)	
内容	<ul style="list-style-type: none"> 連続立体交差化計画(井荻駅~西武柳沢駅間)の概要と側道計画 駅前広場計画(上石神井駅、武蔵関駅等)の概要 上石神井駅、武蔵関駅、上井草駅周辺のまちづくりの状況について 	

来場者から頂いた主なご意見

<武蔵関駅周辺のまちづくりについて>

- 武蔵関駅北口は色々な事業が進んでいることを知り驚いた。北口の発展とともに、南口も更に賑わうように頑張ってほしい。
- 補助230号線の事業が、連続立体交差化計画と一緒に進むと知って驚いた。

<連続立体交差化計画について>

- 踏切渋滞を解消するために、連続立体交差化計画を早く進めてほしい。
- 事業費に差はあるが、環境面を考えれば連続立体交差化計画の構造形式は地下方式が良いと思う。

<情報の周知について>

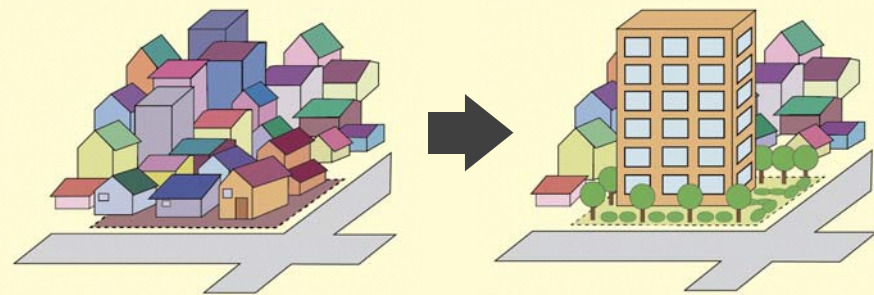
- 用地取得、補償についての内容やスケジュールを詳しく知りたい。
- 今後のスケジュールについて具体的に決まったら、早目に情報提供してほしい。

●詳しくは練馬区ホームページをご覧ください ▶▶▶ [武蔵関駅 沿線まちづくりのオープンハウス](#) [検索](#)

今後のまちづくり

良好な街並み整備や賑わい創出につながる具体的なまちづくりのルールについて、地域の皆様とともに検討していきます。

武蔵関駅北口駅前に土地・建物をお持ちの皆様、今後の土地・建物の利用予定などについてアンケート調査を実施しました。アンケート調査結果を踏まえて、共同建替えなどについて皆様とともに検討していきます。



※共同建替えとは?

複数の権利者が敷地を共同で活用し建替えるものです。

●お問合せ先●

練馬区 都市整備部 新宿線・外環沿線まちづくり課
☎5984-1278(直通) 担当: 小板橋・飯野・加藤

武蔵関駅まちづくりニュース

令和元(2019)年10月

西武新宿線の連続立体交差化にあわせて駅周辺で様々なまちづくりの検討を進めています

武蔵関駅駅前広場の整備

- 連続立体交差化にあわせ、バスやタクシーが入る駅前広場を計画しています。



イメージスケッチ

連続立体交差化計画(井荻駅~西武柳沢駅間)

- 鉄道を高架化し、踏切による地域の分断や踏切事故等を解消する事業を計画しています。



参考: 西武池袋線の立体化

側道の整備

- 鉄道の高架化にあわせて、北側に側道を計画します。
- 側道の整備で、鉄道の高架化による環境への影響が緩和されるほか、駅へのアクセスや沿線地域の利便性、防災性が向上します。



側道イメージ

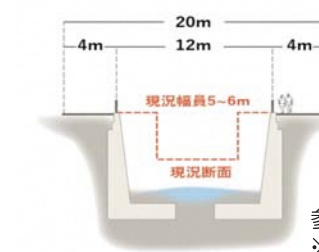


補助230号線の整備

- 安全で快適な駅へのアクセス道路を整備します。

詳細は2・3ページをご覧ください

石神井川の河川整備事業



- 1時間あたり75mm規模の豪雨に対応するため、東京都が、河川の拡幅や調節池を整備しています。

参考: 河川改修イメージ
※石神井川河川整備計画(東京都)をもとに作成

武蔵関駅周辺の交通課題の解消に向けて

主な交通課題



駅利用者が憩い集えるスペースが十分でない



駅直近のバス停が分散し駅から離れている



歩道のない通りにバスが多数運行している

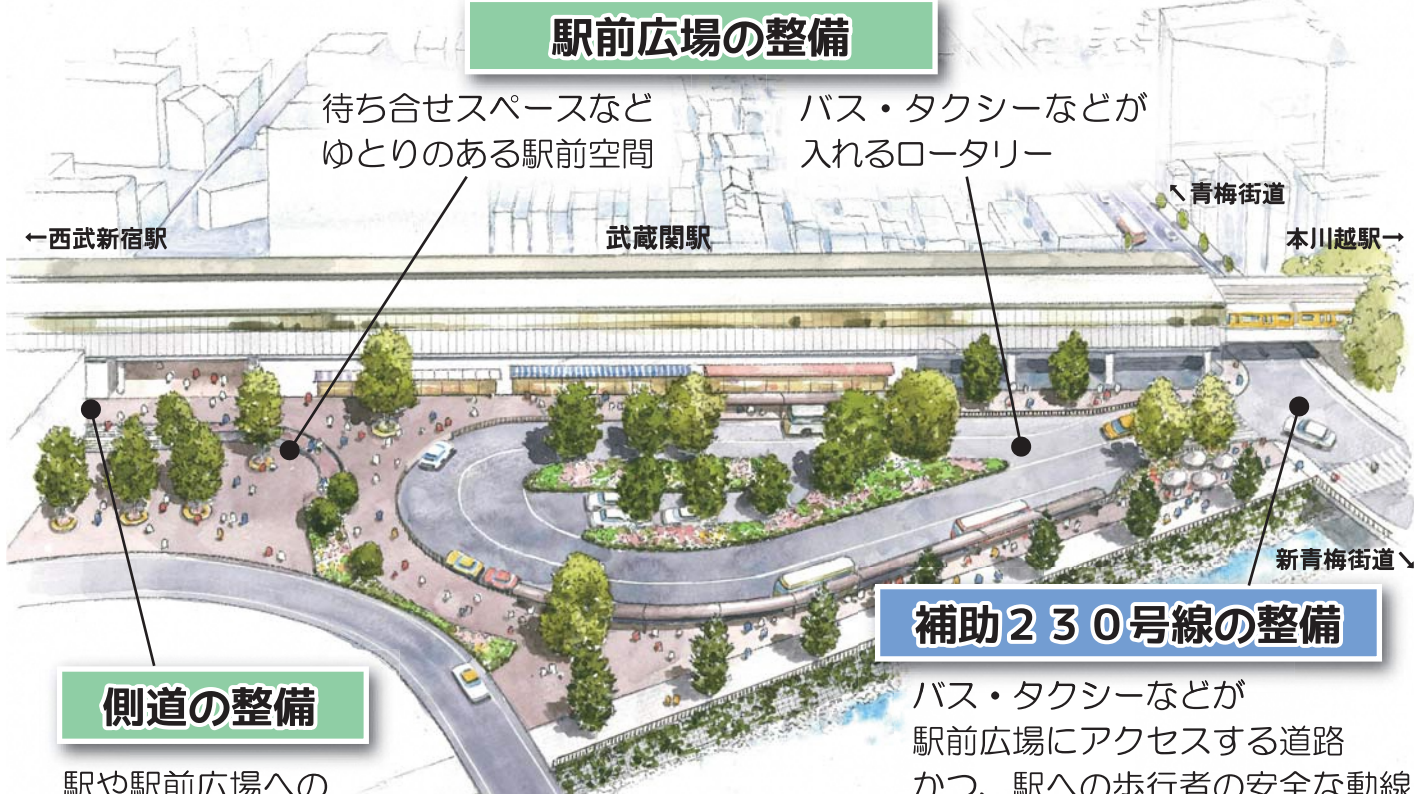
連続立体交差化による踏切課題の解消とともに

※イラストは現段階でのイメージです

駅前広場の整備

待ち合せスペースなどゆとりのある駅前空間

バス・タクシーなどが入れるロータリー



側道の整備

駅や駅前広場への歩行者などの安全な動線

補助230号線の整備

バス・タクシーなどが駅前広場にアクセスする道路かつ、駅への歩行者の安全な動線

詳しくはこちらをご覧ください

特集

都市計画道路補助第230号線の整備

【都市計画決定：昭和41年】
【事業認可(予定)：令和3~4年度】

補助230号線は既に都市計画決定されており、安全・快適な駅へのアクセスや、青梅街道と新青梅街道をつなぐための重要な道路です。

- ◇ 路線名 都市計画道路補助第230号線
- ◇ 延長 910m (青梅街道~新青梅街道)
- ◇ 幅員 16m
- ◇ 施行者 練馬区



※道路の位置は概略です

よくある質問

Q. なぜ関町庚申通りがあるのに、補助230号線の整備が必要なの？

- 庚申通りは、現在、歩道のない狭い通りにバス等が行きか、危険な状態です。しかし、沿道に高く堅い建物が建ち並び、拡幅整備に長い期間がかかると予想されます。
- 補助230号線は、計画範囲内の建物の階数や構造などに一定の制限がされており、比較的短い期間で安全な動線を整備できると考えています。



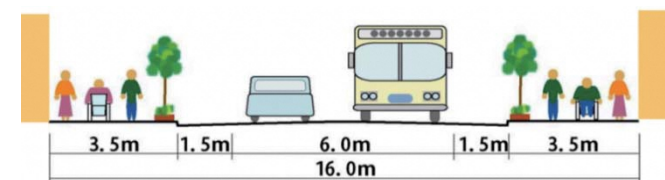
Q. 事業の流れやスケジュールについて、詳しく聞ける機会がありますか？

- 今後行う測量や用地折衝、工事の前にはそれぞれ(説明会)を行います。また、不明な点は随時4ページ記載の担当までお問合せください。

歩道は、電線類を地中化し樹木を配置するなど、景観にも十分配慮しています

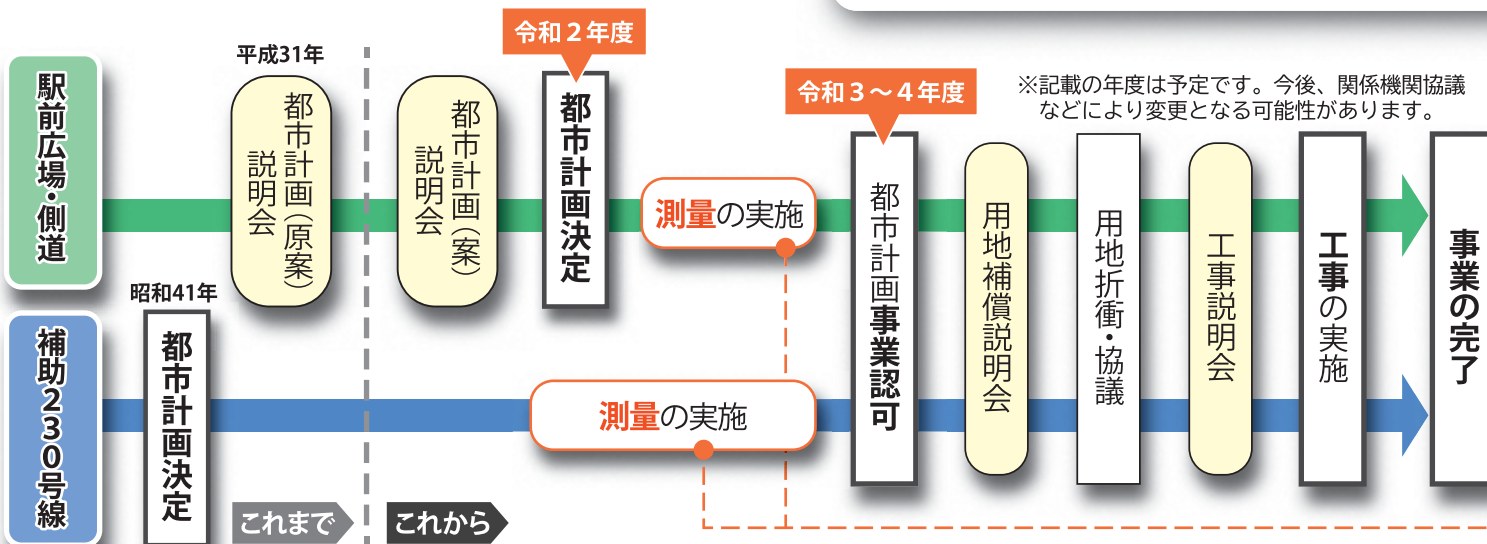


整備事例：都市計画道路補助第132号線(幅員16m、石神井町二丁目付近)



参考：補助230号線 断面イメージ図

連続立体交差化計画とあわせて駅前広場および側道、補助230号線の整備を進めていきます！



※記載の年度は予定です。今後、関係機関協議などにより変更となる可能性があります。

測量とは？

測量には『現況測量』と『用地測量』があります。

現況測量

計画道路内や周辺の現況(建物、樹木、塀および道路等の形状)を調査する測量です。

用地測量

用地取得の対象となる土地について、周辺の土地との境界を確認し、取得させていただく面積を確定する測量です。



※測量の前には説明会を実施します。